

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TCR209A	TCR_情報リテラシー II_A	
科目名（コード）	TCR209	TCR_情報リテラシー II_A	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2年生
対象コース	CH2	単位数	2単位30
授業担当者	佐々木隆一	時間数	
成績評価教員	佐々木隆一	講義期間	秋期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	現代社会の様々な分野で即戦力として活躍することができることを目標に、1年次に履修した内容のスキルアップを図り、今後のキャリアを自ら形成・発展させることができることを目的とする。
全体の内容と概要	表計算ソフトExcelを中心に、ビジネス上よく使用される計算式や関数&データベース機能等、演習を中心に学習した知識を定着させる。尚、進捗状況により一部内容を変更する場合がある。
授業時間外の学修	余力がある人は、ドリルやオプションの問題にも積極的に取り組むこと。
履修上の注意事項等	通信環境の事情により、事前に指定したファイルをUSBメモリにダウンロードし持参すること。また、必須課題を期限までに未提出の場合は、当日分が欠席扱いになるため必ず提出すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション Excel概要・基本用語の理解	Excelの基本用語と画面構成/構成要素 基本操作練習（p100-115）
2	基本操作をマスターする	範囲指定/書式設定/印刷の方法 練習9&10演習/オプション課題
3	よく使われる計算式と関数1	ビジネスでよく使われる用語と計算式 練習12・13・14/オプション課題
4	よく使われる計算式と関数2	関数のネスト/端数処理/論理関数 演習
5	よく使われる計算式と関数3	関数のネスト/端数処理/論理関数 練習15&16演習/オプション課題
6	よく使われる計算式と関数4	IF関数とVLOOKUP関数について VLOOKUP関数の利用(ドリルp47-48)/演習(ドリルp49)
7	グラフ作成の基本	用語の理解/グラフリボンの機能と操作（p153-169） 練習17&18演習
8	適切なグラフを作成できる	いろいろなグラフ（p169-176）/レーダーチャート・複合グラフ作成 グラフの印刷/練習19&20&21演習
9	グラフの活用演習	演習：ドリルp33-34、p53-54、p55-56他
10	データベース機能の活用1	用語の理解/データリボンの機能と操作 演習：ドリルp37-40、p41-43
11	データベース機能の活用2	データベース機能の活用口 演習：ドリルp63-65
12	総合演習	Excel総合問題演習他
13	まとめと補足	補足説明/質疑応答他
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	ISBN：978-4908434358 書籍名／出版社：Office基礎と情報モラル（Office2019対応）/noa出版
参考文献・資料等	ISBN：978-4-86510-421-9 書籍名／出版社：「よくわかるExcel2019ドリル」/FOM出版
備考	